



## 2022年度 鶴川地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2022年10月31日 (月) 18:30~20:00

[場所] 鶴川市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫  
鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 斎藤 広志

#### ○ 連合会長の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 会長 仲村 清彦

#### ○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

#### ○ 職員の紹介

#### ○ 市政懇談会について

#### 第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 鶴川駅南側整備及び北口広場拡張計画の進捗状況について  
【都市づくり部】 【道路部】
- 2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について  
【道路部】
- 3 都市計画道路の整備促進の働きかけについて  
【道路部】
- 4 多摩モノレール延伸ルートについて  
【都市づくり部】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

#### ○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 大石 正幸

2022年度 鶴川地区 市政懇談会  
議事録(要旨)

[日 時] 2022年10月31日(月) 18:30～20:00

[場 所] 鶴川市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一  
道路部長 萩野 功一  
都市づくり部長 窪田 高博  
都市づくり都市整備担当部長 平本 一徳  
市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫  
鶴川地区町内会・自治会連合会長 ほか26名  
事務局 市民部市民協働推進課 5名  
市民部鶴川市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

鶴川地区町内会・自治会連合会副会長

- 鶴川地区町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

## 第1部 地域の議題に関する意見交換

### 1 鶴川駅南側整備及び北口広場拡張計画の進捗状況について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 鶴川駅南側の整備計画進捗状況
- (2) 北口広場拡張計画の進捗状況

### 【回答】

#### 都市づくり部都市整備担当部長

(1) 鶴川駅南側の整備計画進捗状況について、でございますが、鶴川駅南土地区画整理事業につきましては、2020年3月に事業認可を取得し、事業を進めているところでございます。

2022年度につきましては、7月に換地設計を決定し、8月に土地区画整理事業区域内の街づくりをさらに推進するため、「鶴川駅南地区『駅前有効活用エリア』街づくり方針」を策定いたしました。10月には、この方針に基づき実施する土地区画整理事業区域内の地区計画及び用途地域等の都市

計画変更に関する説明会を開催いたしました。

今後は、2022年度中に土地区画整理事業区域内の都市計画変更を行い、2023年度からの工事着手を目指してまいります。

土地区画整理事業に隣接する西側地区につきましては、現道の污水管整備と道路整備の準備を進めているところでございます。

道路整備につきましては、2021年11月から2022年7月にかけて、沿道地権者の皆様へ個別に整備内容や進め方を説明いたしました。

今後につきましては、2027年度から工事に着手し、2028年度の工事完了を目指してまいります。

污水管整備につきましては、和光大学ポプリホール鶴川前の鶴川2号踏切付近から東側の区域について、現在、整備を進めているところでございます。

今後につきましては、土地区画整理事業区域に隣接する部分を除き、2022年度中に完了いたします。土地区画整理事業に隣接する部分につきましては、道路の拡幅整備に合わせて実施いたします。

岡上駐在所前交差点から鶴川駅南口に至るアクセス道路の整備につきましては、2020年1月に川崎市と事業を円滑に推進するため、協定を締結し、川崎市と連携しながら事業を進めているところでございます。

今年度につきましては、5月に川崎市岡上地区にお住まいの方々と沿道地権者の皆様を対象とした説明会を実施し、その後、用地測量や詳細設計を進めているところでございます。

今後は、2022年度中に用地測量を完了し、2023年度から用地取得を開始し、併せて工事にも着手する予定です。

## 道路部長

(2) 「北口広場拡張計画の進捗状況について」にお答えいたします。

鶴川駅北口広場再整備事業につきましては、2020年11月に都市計画道路町田3・3・28号鶴川駅北口線として事業認可を取得し、昨年度(2021年度)から工事に着手いたしました。

昨年度は、電線類を地中化する電線共同溝の工事を実施いたしました。今年度(2022年度)は、新しい北口広場の街築とバスシェルターの工事を行っております。

来年度以降も引き続き北口広場の整備を進め、2027年度の完成を目指しております。

なお、工事に際しましては、北口広場をご利用の皆様、近隣にお住まいの方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、安全には十分配慮し工事を進めて参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

## 《質疑》

### 三輪緑山自治会

駅北口と駅南口で駅舎が関係すると思うのですが、駅舎の改修予定はどのようなになっているのでしょうか？

### 都市づくり部都市整備担当部長

駅舎につきましては今小田急と詳細について協議を進めているところでございます。計画がはっきりしましたらご報告をさせていただきたいと思っております。

## 2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 鶴川東交差点から上麻生交差点に至る渋滞解消対策
- (2) 金井入口交差点の渋滞解消対策
- (3) 鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策
- (4) 岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策

## 【回答】

### 道路部長

2 「鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について」の

(1) 「鶴川駅東口交差点から上麻生（かみあさお）交差点に至る渋滞解消対策」についてお答えいたします。

まず、東京都側の進捗状況でございますが、鶴川駅東口交差点から川崎市境までの810m区間については「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」において、東京都が2025年度までに、優先的に整備すべき路線と位置付けられておりますが、現時点で、整備時期は未定と伺っております。

川崎市側の進捗状況でございますが、川崎市境から三井住友銀行柿生支店前までの約430m区間の上麻生Ⅱ期工区について用地取得を進めており、2022年3月時点の用地取得率は26%となっております。

(2) 「金井入口交差点の渋滞解消対策」についてでございますが、金井入口交差点の渋滞は、鶴川方面の公共バスや一般車の交通集中によって発生しており、当該交差点改良などによる抜本的な渋滞緩和対策は難しい状況です。

現在、町田市では議題1にありました北口広場の拡張整備を進めております。

この広場の整備によって、現在の広場面積4,000㎡から約2倍の

8, 200 m<sup>2</sup>に拡張し、北口広場内の交通容量を増加させることで、公共バスの円滑な運行をはじめ、駅周辺の交通渋滞緩和が期待できると考えております。

更に、南口交通広場整備による交通分散も期待でき、駅周辺の交通渋滞緩和と連動して、金井入口交差点の渋滞緩和に繋がると考えております。

(3) 「鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策」についてでございますが、鎌倉街道につきましては、東京都において事業中の路線です。

今井谷戸交差点から薬師中学校北側の薬師池交差点までの740m区間を薬師池Ⅰ期事業区間として、現在用地取得を進めており、2022年4月1日時点の用地取得率は、昨年度と変わらず47%と伺っております。

その先の、薬師池交差点から新袋橋交差点手前のガソリンスタンド付近までの915m区間を薬師池Ⅱ期事業区間として、現在用地取得を進めており、2022年4月1日時点の取得率は、昨年度と変わらず28%と伺っております。

町田市としましては、鎌倉街道の拡幅完了までには、まだ時間を要することから、交通の円滑化も踏まえて、まず2018年度に「薬師ヶ丘バス停」に連節バス対応のバスベイを設置いたしました。

また、昨年度から新たなバス停として工事を進めてまいりました「四季彩の杜西園前バス停」には、連節バス対応のバスベイが今月完成し、今月の10月16日のバス運行ダイヤ改正に合わせてバス停の利用を開始し、バス乗降時においても円滑な交通の流れを確保することに努めております。

(4) 「岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策」についてでございますが、鶴川駅南口の整備に伴い、町田市が岡上駐在所前交差点から鶴川駅南口に至るアクセス道路を整備し、これに合わせて、川崎市が岡上駐在所前交差点の改良を行う予定でございます。

駅南口へのアクセス道路整備と交差点改良は、三輪方面から鶴川駅に向かう交通を分散するとともに、交差点内の円滑な交通処理を可能とし、岡上駐在所前交差点をはじめ、駅周辺の交通渋滞緩和に寄与するものと考えております。

今後のスケジュールについては、2027年度の工事完了を目指して進めてまいります。

なお、世田谷通り、芝溝街道及び鎌倉街道については、今年の6月に市長及び副市長から東京都南多摩東部建設事務所長に対し、各事業の早期着手や整備促進を要請するとともに、進捗状況について情報共有を図っております。

また、川崎市に対しましても、川崎・町田道路連絡調整会議などを通して、都市計画道路の整備推進や交差点の渋滞解消対策の早期実施について、引き続き要請してまいります。

## 《質疑》

### 鶴川2丁目自治会

岡上交差点から鶴川駅の南口へのアクセス道路の道路幅はどのくらいになるのでしょうか。

### 道路部長

川崎市から町田市へ南北に走る道路は、現在道路幅員6メートルの道路です。今後は、両側に歩道を設置し、駅南口の交通広場まで道路幅員12メートルに広げてまいります。岡上交差点から東西に走る道路は現道と同じ幅員の予定です。ただし、部分的に安全上問題がある箇所は改良します。東西の道路は、幅員10メートル以下だったと思います。

### 3 都市計画道路の整備促進の働きかけについて

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ
- (2) 広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ

## 【回答】

### 道路部長

3「都市計画道路の整備促進の働きかけについて」の(1)「真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてお答えいたします。

東京都では、町田都市計画道路3・4・23号の内、真光寺十字路交差点の北側から川崎市境手前までの940mの区間において事業を進めており、この区間の用地取得率は93%と伺っております。

この内、真光寺十字路交差点の北側から市道鶴川556号線ボナペティ(レストラン)の部分までの区間は、既に整備が完了しております。残りの市道鶴川556号線から北側の区間については、引き続き、用地取得を進めている状況です。

事業区間から先の、川崎市境までの約30mの区間については、第四次事業化計画において、東京都が2025年度までに、優先的に整備すべき路線と位置付けられておりますが、現時点で整備時期については未定と伺っております。

また、川崎市は、市境からセレスモス麻生店前の交差点までの約470m区間を、「第2次川崎市道路整備プログラム」において、2025年度までに事業に着手する路線に位置付けておりましたが、2022年2月に計画の後期取組み内容を見直し、2026年度から2029年度に着手時期を変更

し、少し先送りになった状況です。

(2) 「広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてでございますが、町田都市計画道路3・4・30号と接続する川崎都市計画道路3・4・23号線については、川崎市に確認したところ、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられておらず、整備時期は未定と伺っております。

真光寺から黒川、広袴から栗木への都市計画道路の整備促進については、引き続き、東京都及び川崎市に対して整備促進の働きかけを行ってまいります。

《質疑》なし

#### 4 多摩モノレール延伸ルートについて

昨年12月27日、多摩都市モノレール、ルート検討委員会のルート選定結果が発表されました。大変結構なのですが、小野路町のルート決定について現実的でない部分がありますので実現可能なルートを提案したいと考えております。

都道町田日野線の拡張工事における小野路町バス停「浅間下」から「小野神社前」間、通称「宿」地区の道路拡張です。この区間は旧鎌倉街道、大山街道の宿場町であります。町田市文化財としても重要な地区です。都道町田日野線の道幅も狭く、住宅が密集しています。町田市の里山交流館（旧角屋、細野邸跡）など歴史的な文化財もあります。ここを拡張するとなると多くの民家を移転しなければなりません。しかも両側が丘陵地帯で単純に道路後退を行って住宅を移動するのも膨大な工事費がかかります。

現実問題としては多摩市南野2丁目まで道路はできています。そこから町田市小野路町に入ります。ここから道路拡張を行ってモノレールのコースを造らなければなりません。町田市小野路町に入ると急な坂を下ります。坂を下ったところが浅間下のバス停になります。この近所、小野路町4395番地付近から南南東にコースを変えます。萩生田牧場の東側を通過して万松寺の東に出ます。そこから現在の町田日野線に出るとよいと思います。丘陵地帯の山を削るかトンネルを掘ることになりますが、宿地区の住宅を買収し移転工事を行うよりは文化財保護（宿の街並み保全）の見地からも用地買収費、工事費の面でもより良いコースだと思います。善処していただけることを期待します。

## 【回答】

### 都市づくり部長

多摩都市モノレール町田方面延伸ルートの詳細につきましては、今後、事業主体である東京都が調査、設計を実施し、モノレールや導入空間となる道路の都市計画決定を行う段階で、明らかになると考えております。

ご提案のありました、小野路宿通り付近につきましては、小野路宿通りに並行する未整備の都市計画道路があり、その都市計画道路を活用して、モノレールが導入されると想定しております。

今後、事業主体である東京都が調査・設計を実施する段階で、ご提案の内容も含め東京都と協議し確認してまいります。

## 《質疑》なし

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

まずは新型コロナウイルス感染症への対応ということで感染防止に皆様努めていただいたこと、改めて御礼を申し上げます。

それでは「2022年度市政懇談会市政報告概要」をご覧ください。2022年度の主な事業を記載してあります。

まず、病児保育施設についてです。保育園で熱が出た時に子どもを預けることができるのが病児保育施設です。この施設が南町田駅前にこの4月にできました。こちらの病院で町田市内3カ所目です。この3月までは原町田に1つ忠生に1つありましたが、南町田で3カ所目です。また、この病児保育施設は八王子市と相模原市と協定を締結しているため、八王子市民、相模原市民も使用できます。協定は相互協力ですから町田市民が相模原市内、八王子市内の病児保育施設を使うということもできます。現在の病児保育施設の場所は忠生と南町田と原町田ですから、鶴川地区に病児保育施設がありません。しかし、川崎市と協定を締結すれば鶴川地区の方が川崎市の病児保育施設を利用できます。病児保育の協定を川崎市と締結しようと折衝中です。

待機児童については今南町田の駅の近くに80人定員の施設を整備しています。来年4月には80人定員の施設が出来る予定です。

児童相談所については町田市内に児童相談所を設置していただきたいということを東京都にお願いしております。町田市を管轄している児童相談所は八王子の児童相談所です。町田市民の皆様は八王子児童相談所に相談することになります。八王子児童相談所から町田市に来るとなると非常に時間がかかります。そのため町田市としては、町田市内に東京都立児童相談所を作ってくださいと話をしております。



小中学校について、鶴川地区では鶴川第二小学校、鶴川第四小学校の場所に学校を建替え、鶴川第三小学校の児童はそれぞれ近い学校に行くという計画があります。今その計画の合意に向けてお話し合いをさせていただいています。

中学校給食についてですが、市内3カ所に給食センターをつくります。それぞれ忠生第六小学校の跡地、成瀬クリーンセンターの隣、金井スポーツ広場の一角につくるという計画です。予定では金井スポーツ広場につくる給食センターが町田市では一番早くできます。

高齢者特別養護老人ホームですが、入所の申込みをしてから1年以内に入るケースというのが12、3年前では45%、現在は8割以上が1年以内に入所できるというようなどころまで整備が進んでいます。何が言いたいかというと、こういう市は非常に少ないです。

香山園ですけども、2024年度のうちに開園をする予定になっています。現在はそれに向け耐震設計と耐震工事を実施しています。

野津田公園については、テニスコート4面の供用を2023年4月にスタートします。それに加えてスポーツ施設として清掃工場の隣に忠生のスポーツ公園を整備します。2023年8月に供用開始の予定です。

国際工芸美術館については、2022年度末に着工と書いていますが、変更となる可能性があり、2023年の春頃に着工となると思います。着工が遅れたことによる開館時期の影響については建物が出来てから1年間の乾燥期間を現在取っているのので、これをどれだけ縮められるかにより、現在の2026年3月開館予定も実現できるかなと思います。最後に公園内へのエレベーター新設についてお話しをします。芹ヶ谷公園は谷というくらいですから谷戸地形になっており、谷底に公園や美術館があります。公園へのアクセスは坂や階段を上り下りする必要があります。そこでエレベーターを作ることになりました。

## 《質疑》

鶴川和光台自治会

特別養護老人ホームについてですが1年未満入所が2021年度で86%と出ておりましたが、この数字の今後の見通しがある程度分かれば教えていただければと思います。

町田市長

実はこの数字86%だったり80%だったり90%だったり、毎年変動しています。そのため80%から90%の間で変動する数字だにご理解いただきたいと思います。

## 金井町内会

町田市で物価高対策について今実施していること、また今後も物価高騰があると思いますので、これから対策等があればお聞かせ願いたいと思います。

## 町田市長

10月に政府の方で新しい経済対策を決めまして、政府の方は資金として地方創生臨時交付金というのを各市区町村に配ることになっています。私どもはそれを原資に仕事をするようになるのですが、今のところ固まった方向がないのですが12月議会に向けて検討中です。子育て世帯への援助みたいなことを既に実施していましたが政府の施策とかぶってしまいまして、それを今どうするかというのがあります。その他には今回の9月の経済対策では物価高、原油対策ということで様々な補助金を実施いたしました。今、それぞれの補助金の申請を受け付けています。この次にどうするかは政府の動向を見ながら子育て関係のことが始まると思います。12月の議会には今お話のあった物価高対策、原油対策の事業の提案をする予定でございます。

## 鶴川四丁目一七会

学校の学童についてご質問させていただきたいと思います。今新たな学校づくりの協議会、鶴川第四小学校の方に参加していると思うのですが、その中で町田市からあった説明は学童については1校に1つとありました。学校を現在減らしているわけですから当然、学童が減っていくということになるかと思っています。そうすると夜遅くに帰るのに、今よりも学童が遠くなってしまうということがあるのでそれをせめて現状の学校数の分の学童ができないかお伺いしたいと思います。

## 町田市長

既に議会でも同じ質問をいただいております。実は1つの学校に1つの学童保育クラブというのは10年ぐらい前に実現いたしました。それまでは学校の中や隣にはありませんでした。しかし、今は全ての学校の中、もしくは隣に学童保育クラブがあるという体制になりました。廃校となる鶴川第三小学校の学童保育クラブはどうなるのかというと学校がなくなれば学童保育クラブも鶴川第二小学校、鶴川第四小学校の2つになります。先程申し上げた通り学校として建物を使っていなければ、そこに子供はいません。そのため授業が終わり鶴川第二小学校、鶴川第四小学校から鶴川第三小学校の学童保育クラブに行くというのは考えづらいですね。当然なのですが、鶴川第三小学校に通っていた子どもは遠い鶴川第四小学校、鶴川第二小学校に行くということになります。鶴川第二小学校、鶴川第四小学校で学童保育クラブを運営すれば学童保育クラブとしても普通のやり方になります。今まで学校に

併設して学童保育クラブをやってきたこの10年間の取り組みが戻ることになるので基本的にはそういう考え方はありません。

#### 鶴川四丁目自治会

学童は学校から行くだけじゃなくて、学童から帰ることも考えないといけませんよね。今の考えだと学校と学童は近いかもしれないけれども、家に帰る時間、遅い時間に長い道のりを帰らなくてはならないということを考えてないのでしょうか。これからの時期は暗くなってから家へ帰る時間が心配だと思いますがその辺はいかがでしょうか。

#### 町田市長

今申しましたように学校に学童保育クラブを併設しています。基本的な方針を変えるつもりはないので遠くなることについては毎日の通学も同じことです。それについての議論を今行っている最中です。学童保育クラブだけでなく、学校についても。問題はお話のように冬の時間に暗い場所を帰ることについてその安全確保の問題は残るわけですから、それをどのように解決するかというのはもちろん問題としてあります。それを解決するように方策を考えなければならぬことも分かっておりますので、これから対策を考えるということになります。

#### ○閉会の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長